国鉄新聞
港区新橋 5―15―5
国鉄労働組合中央本部
☎03-5403-1640
発行人　菊池忠志
編集責任者　瀧口良二
（組合員の購読料は組合費の中に含む）

2018 春闘 全国各地で春闘を闘う

国労新橋支部春闘統一行動集約集会最後に団結がんばろうをする市川支部委員長

新橋支部が春闘統一行動

国労東京地本新橋支部は、1988年から行われ30年を迎える「国労新橋支部春闘統一行動」の集約集会を3月16日に新橋交通ビルにて開催し、組合員・支援の仲間が結集した。

集会は高瀬執行委員の開会挨拶、司会で進行された。

主催者を代表して市川支部執行委員長が、JR東労組の大量脱退を受け、「例年にない春闘となる。職場に労働組合が国労だけの所も出来た。この集約集会以降、組織拡大に奮闘しよう」と挨拶、続いて石井東京地本書記長が春闘情勢を報告した。

来賓挨拶として南部全労協の藤村事務局長が共に闘う決意を述べ、決意表明として、JAL不当解雇撤回争議団の鈴木さん、ユナイテッド不当解雇撤回争議団の千田さんから、争議の経過報告と支援が訴えられた。また国労品川地区分会の坂本さんから、JR東日本の安全無視の合理化施策に職場から抗して闘う決意が述べられた。

新橋支部春闘統一行動の報告が竹田書記長より行われ、2月13日・14日の支部春闘学習総決起集会、合理化施策に対する団体交渉、3月6日有楽町マリオン前での安倍政権NO！憲法を生かす全国統一署名の取り組み等が報告され、集約集会以降は、①組織強化・拡大、②安全・仕事総点検運動の取り組みが提起された。

最後に市川執行委員長の団結ガンバロウで集会を終え、新橋から東京駅鍛冶橋までデモ行進を行い、沿道の人々に春闘勝利を訴えた。

【新橋支部発】

2018年国民春闘勝利 国労西日本総行動

国労西日本本部は3月15日、「2018年国民春闘勝利！安全・安心の鉄道と社会を作ろう！3・15国労西日本総行動」を取り組んだ。

国労大阪会館で開催した「春闘決起集会」では、主催者を代表して西日本本部の森田委員長が挨拶し、JR西日本・貨物の交渉状況、安全問題、憲法改悪など政治状況等を報告した。

中央本部の松川書記長からは、全国の春闘情勢、組織拡大行動などが報告された。最後に西日本本部から18春闘での交渉経過を受け全体で確認した。

集会を終え、「JR西日本本社前・JR貨物関西支社前行動」には、500名の組合員が結集し、JR西日本の「低額回答に抗議する」と共に、JR貨物の「ベアゼロ回答を許すな！12000円の賃上げを」などの声を挙げた。

社前行動で森田委員長は、「西日本の回答状況は、国労要求とはかけ離れたものであり、抗議の意を表明している。貨物には有額回答を求めていきたい」と訴えた。

来賓として大阪労連の菅事務局長から、春闘全体の情勢報告とベア獲得に向けての激励・連帯の挨拶を受けた。

JR西日本本社前・JR貨物関西支社前集会

関西貨物協議会の野々村議長は「春闘要求の満額獲得」を求め、近畿地方本部の西薗委員長は、「安全問題について」の決意表明を行った。

最後に、大北青年部長の熱いシュプレヒコールにあわせ、参加者全員が18春闘勝利と安全・安心の鉄道を訴えた。

【西日本本部発】

国労東北18春闘総行動 中央交渉を押し上げる

国労東日本と国労東北協議会が主催する、盛岡・秋田・仙台の東北三地本による「国労東北総決起集会」が、3月9日に仙台市・ホテル法華クラブで開催され42名の組合員が結集した。

国労東北総決起集会終了後仙台市内をデモ行進

集会は二部構成で行われた。

第一部は、（財）国鉄労働会館主催の労働講座が行われ、「働き方改革関連法案の内容と問題点」をテーマに、元日本労働弁護団会長の宮里邦雄弁護士を講師に迎え行われた。

宮里弁護士から講演を通じ、『労働時間管理の主人公は労働者である』ということを改めて考えて欲しい。国労が組織の過半数を占めるという課題と一体のものである」との提言を頂いた。

第二部は、国労東北総決起集会が行われ、主催者を代表し、東日本本部の大沼元委員長と東北協議会の佐藤浩一議長が挨拶を行い、春闘情勢とJR会社の動向、国労の取り組み、「18春闘勝利と諸課題の前進を図る取組みを通じて、組織混乱から東労組を脱退した仲間を国労に迎え入れる決意を固め合おう」と訴えた。

来賓として、政党や友誼団体から挨拶を受け、東北三地本の各代表と東北貨物協議会議長からは、「春闘の闘いを通じて組織拡大を」「ストライキで要求を勝ち取ろう」など力強い決意表明を受けた。

集会後は2018春闘勝利を訴えて仙台市内をデモ行進し、賃上げを始めとした労働条件改善や安全問題などの国労要求をシュプレヒコールし、沿道の市民にアピールし、共に闘うことを訴えた。

【仙台地本発】

週間日誌

2・25　平昌冬季五輪閉幕、日本はメダル13個獲得、過去最多▽中国全人代で国家主席任期撤廃の憲法改正、習近平氏の終身支配可能に

2・28　新幹線台車亀裂問題で川崎重工が鋼材を薄く削った強度不足が原因と判明、146台交換▽安倍首相は厚労省の不適切データへの批判受け「働き方改革関連法案」から裁量労働制の対象拡大の提出を断念

3・2　朝日新聞が森友学園問題で財務省文書が書き換えられた疑惑を特報

3・8　トランプ米大統領が韓国特使と会談、5月まで北朝鮮との米朝首脳会談の意向表明

3・9　佐川国税庁長官が森友文書問題など理由に辞任、初めての取材で謝罪

慶進

3月11日、2万2千人以上が犠牲となった東日本大震災から7年が経った。住居や道路、鉄路などは整備されつつあるものの、人々の暮らしやコミュニティーの立て直しは道半ばであり、東京電力福島第一原発事故の傷痕はなお深く、廃炉作業は緒に就いたばかりだ▼復興庁によると、被災者のための宅地を作る「高台移転」は90％、災害公営住宅は93％が完成した。国道や鉄道も100％近くが復旧、再開しており、防潮堤は計画の92％が着工し、半分近くが完成したとされているが、今も約7万3千人の方が避難生活を強いられている。7年が経過し、インフラを中心に街の姿が再興してきたと言われる一方で、人口の流失に歯止めがかからない▼岩手、宮城、福島の3県は震災前と比べて約25万人減少。沿岸部を離れ、様々な事情・理由で別の土地で生活を再建する被災者が増えている。原発事故に遭った福島では、4町村で避難指示が一斉に解除され、間もなく1年になろうとしているが、帰還者は少ない。農業産出額も回復しておらず、避難生活に伴う精神的苦痛に対して支払われてきた賠償は、避難指示が概ね解除されたとして、この3月分で終了▼政府は、来年の「常磐線全線開通」を復興のシンボルとしようとしているが、まだまだ道半ばである。国労がこの間取り組んできた「フクシマ交流学習会」や「フクシマ連帯キャラバン」。現地に行き、目で見て肌で感じて、決して風化させない取り組みが今後も必要になる。（裕）

2018春闘

青年・女性・家族中央総行動

国労青年部・女性部・家族会で構成する「青女家行動委員会」は、3月5～6日に全国から約50名が参加して、2018国労「青年・女性・家族中央総行動」を取り組んだ。

初日5日の全体交流会では、青年・女性・家族会の横のつながりを強化する為に、大北副議長の司会進行でビンゴゲームやじゃんけん大会といったレクリエーションで親睦を深めた。

6日の学習交流会では、加藤議長より「私たちは社会の主役。自信と誇りを持って声をあげよう」と主催者挨拶があり、本部宮崎組織部長より組織の現状と課題について報告を受けた。

全国から約50名が参加して取り組まれた国労青年・女性・家族中央総行動

労働講座では神奈川総合法律事務所の山岡遙平弁護士を講師に「職場の困りごと、誰に相談しますか？」という題目で、コンプライアンス相談窓口の問題を事例に取り上げ学習した。相談内容が管理者に筒抜けになるといった問題が多発することから、グループワークを通じて職場や組合で相談できる人を大切にし、仲間同士助け合っていくことを改めて認識できた。さらに業務の知識や技術を向上させ職場の信頼関係を構築して組織の強化・拡大に取り組む事を参加者全員で意思統一をした。

続いて中嶋事務局長の集約、黒澤副議長の団結がんばろうで、2018年の「青年・女性・家族中央総行動」を締めくくった。尚、午後には、代々木公園で開催された「2018春闘勝利国労中央総決起集会」に合流した。

18春闘勝利 千葉県総決起集会

国労千葉地本は、3月8日千葉市民会館で開催された、国鉄闘争の経験と教訓を活かす千葉県共闘会議主催の「2018春闘勝利千葉県総決起集会」に結集した。

2018春闘勝利千葉県総決起集会

開会挨拶のあと、主催者挨拶も兼ねた堀川議長からの基調報告がされ、続いて各単組から18春闘の現状報告が行われた。

国労は、「究極の安全といっても、JR東日本は事故が起きるまで合理化・効率化施策を止めずに利潤を追求する発生主義。われわれは、二度と事故は起こさせないために、必要要員の配置などを求める予防主義。安全・安定輸送の確保のために地域、利用者等連帯する仲間と闘う」と決意表明した。

その後、JAL争議団報告、集会アピールと続き、団結がんばろうで散会した。

【千葉地本発】

岡山県春闘共闘総決起集会
庭瀬駅の無人化反対

国労岡山地本は、地域の仲間との連帯を柱に、2月21日の岡山県地域総行動で18春闘をスタート、岡山県下約30駅での駅頭宣伝行動を、3月3日の岡山県春闘共闘総決起集会へと繋げた。

岡山地本は、3月初旬から地域宣伝行動を行い、3月9日は「統一行動」として、岡山駅頭で18春闘勝利・大幅賃上げ 遠隔MV導入による庭瀬駅の無人化反対を訴えると共に、憲法・働き方改悪阻止を訴え3000万人署名を取り組み30筆の署名を集めた。

JR岡山支社・貨物岡山支店前行動

岡山駅街宣行動後、JR岡山支社、貨物岡山支店前で要請行動を展開、支部・分会の旗を立て、参加した30人を超える組合員が、大きな声で春闘要求を訴えた。

【岡山地本発】

速報 **組織拡大**

◎東日本本部　東京地本
神奈川地区本部　川崎支部
新鶴見機関区分会　JR貨物　清水孝家　27歳　3月14日付
◎東日本本部　東京地本
大井工場支部　東京総合車両センター　23歳　3月14日付　未加入

2018 原発のない福島を！ 県民大集会

「原発のない福島を！県民大集会」実行委員会主催による、「2018原発のない福島を！県民大集会」が3月17日、今年は東京電力福島第一原発事故被災地に近い楢葉町天神岬スポーツ公園で開催され、福島県内外から3300人の労働者・市民が参加した。

オープニングに日音協による歌と、地元有志による「ならば天神太鼓」が演奏された。

集会の冒頭、3・11東日本大震災でお亡くなりになった方々への黙祷が行われた。

主催者を代表して角田政志実行委員長から、賛否の声があり何度も議論しながら、被災地の厳しい実態を全国の人々に知ってもらいたいとの思いから、会場を2015年9月まで避難指示区域であった楢葉町にしたことの意義が語られた。

福島県楢葉町で開催された県民大集会

特別ゲストのルポライターの鎌田慧さんは、安倍政権の原発政策を糾弾し、安倍内閣打倒を呼び掛けた。

11名の呼びかけ人を代表して武藤類子さんが、避難指示区域を解除して、避難者に帰還を迫るのは人権問題であり、避難者に対する補償の打ち切りは許せないと訴えた。

県民からの訴えとして、浪江町津島地区から福島市での避難生活を送っている三瓶春江さんから、避難生活を強いられる中での健康被害、学校における虐めの問題など生活破壊の実態が報告された。若者の立場から、第20代高校生平和大使の高橋伶奈さん、高橋花音さんが国内外での活動報告を行った。

最後に「集会アピール」が読み上げられ、参加者全員の拍手により採択された。この集会アピールをもって、後日東京電力など関係個所への要請行動を取り組むことを確認して集会を終えた。

「がん」の保障　《新生きるためのがん保険Ｄａｙｓ》

保険期間：終身（抗がん剤治療特約は10年更新）　契約年齢：０歳～満85歳
Ａプラン　入院給付金日額10,000円の場合

初めて診断確定されたとき	診断給付金	がんの場合	一時金として　100万円
		上皮内新生物の場合	一時金として　10万円
入院したとき	入院給付金	１日につき	10,000円
通院したとき	通院給付金	１日につき	10,000円
手術したとき	手術治療給付金	１回につき	20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	１回につき	20万円
抗がん剤治療を受けたとき（上皮内新生物は対象外）	抗がん剤治療給付金※	治療を受けた月ごと　10万円（給付倍率２倍） 乳がん・前立腺がんのホルモン療法のとき　治療を受けた月ごと　５万円（給付倍率１倍）	（更新後の保険期間を含め通算600万円まで）

※Ａプランの場合、抗がん剤治療給付金はご希望により取り外すことができます。

がん専門相談サービス　プレミアサポート	訪問面談サービスと専門医紹介 ベストドクターズ®・サービス(プレミアタイプ) （このサービスは、株式会社　治研が提供するサービスです） Best Doctors®およびﾍﾞｽﾄﾄﾞｸﾀｰｽﾞは、Best Doctors, Inc.の商標です。

◎詳しくは、「契約概要」等をご覧ください。

「生きる」を創る。Aflac

◆月払保険料（集団取扱）　(2016年12月14日現在)
新生きるためのがん保険Ｄａｙｓ　Ａプラン
入院給付金日額10,000円　定額タイプ　解約払戻金なしタイプ
保険料払込期間：終身（抗がん剤治療特約は10年更新）

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,450円	5,400円	8,920円	14,110円
女性	3,800円	5,370円	6,560円	8,050円

〈抗がん剤治療特約〉の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

＜募集代理店＞
アベニール株式会社
〒105-0004　東京都港区新橋5-15-5　交通ビル3F
TEL：03-3437-6810　　FAX：03-3437-6822

＜引受保険会社＞
アフラック　東京第二法人営業部
〒163-0456　東京都新宿区西新宿2-1-1　新宿三井ビル
当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き
コールセンター　0120-5555-95

AF006-2016-0843　12月27日(181227)